

表3-1 4.9(2) 放流水の水質の状況(平成26年度・月別)

項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	排水 ¹⁾ 基準	維持管理 ²⁾ 目録値
採取日	—	4/2	5/7	6/4	7/2	8/22	9/3	10/21	11/5	12/3	1/7	2/4	3/11	—	—
採取時刻	—	10:09	9:08	9:38	9:46	9:06	9:43	10:48	14:18	9:02	9:14	9:16	10:50	—	—
水温	℃	21.9	25.6	28.2	31.1	35.2	31.8	28.6	25.7	24.6	18.1	17.6	15.4	—	—
透視度	度	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	—	—
残留塩素	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	—	—
放流量	m ³ /日	322.0	422.5	408.5	401.3	287.8	136.3	180.6	226.9	316.9	258.1	158.8	316.5	—	—
	m ³ /時	13.4	17.6	17.0	16.7	12.0	5.7	7.5	9.5	13.2	10.8	6.6	13.2	—	—
カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01	0.01
シアン化合物	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出									
有機りん化合物	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出									
鉛及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.1	0.01
六価クロム化合物	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.05	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05	0.05
水銀及び(メチル)水銀 その他の水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出									
PCB	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出									
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.3	0.03 ³⁾
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1	0.01
ジクロロメタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.2	0.02
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.2	0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	3	1
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.02	0.002
チケラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.06	0.006
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.03	0.003
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.2	0.02
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1	0.01
セレン及びその化合物	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1	0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	<0.05	0.06	0.06	<0.05	0.06	<0.05	<0.05	<0.05	0.05	0.07	<0.05	<0.05	10	1.6
ふっ素及びその化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	8	1.3
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	0.34	0.94	0.15	0.54	1.2	0.13	0.24	0.17	0.34	0.37	0.93	0.21	100	10
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	0.014	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.5	0.05
水素イオン濃度	—	6.8	6.7	6.4	7.1	7.5	7.1	6.7	6.9	6.7	6.7	7.0	6.8	5.8~8.6	5.8~8.6
生物化学的酸素要求量	mg/L	<0.5	1.1	<0.5	0.5	1.4	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.7	20	2.9
化学的酸素要求量	mg/L	1.0	1.7	2.2	2.7	2.6	1.3	3.9	2.7	2.3	2.3	3.0	3.2	20	4.3
浮遊物質	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	40	2.2
鉱油類含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	3	1
動植物油脂類含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	5	1
フェノール類含有量	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.5	0.05
銅含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	1	0.1
亜鉛含有量	mg/L	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	1	0.1
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.05	0.12	0.22	0.08	0.09	<0.05	0.18	0.12	0.15	0.09	0.05	0.11	5	0.5
溶解性マンガン含有量	mg/L	0.32	0.17	0.10	0.18	0.18	<0.05	0.16	0.15	0.38	0.21	0.19	0.32	5	0.5
クロム含有量	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	0.5	0.05
大腸菌数	個/cm ³	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3000	300
窒素含有量	mg/L	1.1	1.4	1.8	1.6	2.0	0.5	1.0	0.6	0.7	0.8	1.9	0.7	120	6.5
りん含有量	mg/L	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.04	0.04	0.03	0.08	0.03	0.04	16	1
塩化物イオン	mg/L	780	660	620	640	710	390	610	360	750	620	820	450	—	1050
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	—	—	—	0.00086	—	—	—	—	—	0.000094	—	—	10 ²⁾	0.1

注1)排水基準:若津川小瀬川流域に係る水道水源の水質の保全に関する条例に基づく排水基準(平7.9.1 若津市規則第25号)

2)ダイオキシン類対策特別措置法に基づく水質排出基準(平11.12.27 総理府令第67号)

3)維持管理目標値:「若津環境管理センター増設事業に係る環境影響評価書」(平成21年5月 新井総合建設株式会社)による。

4)定量下限値未満

出典:「若津環境整備センター環境調査 平成26年度年報」(平成27年4月 日鉄住金環境株式会社)(放流量は若津環境整備センターによる。)

(6) ダイオキシン類の状況

事業実施区域周辺の河川水及び貯水池のダイオキシン類の測定結果は表3-1-4.10に示すとおりであり、測定した養老川上流（持田崎橋：図3-1-4.1の地点8）、小櫃川上流（門生橋：同地点1）、御腹川（御腹川橋：同地点6）、亀山ダム貯水池（堤体直上流部：同地点11）で環境基準を達成している。

表3-1-4.10 河川水及び貯水池のダイオキシン類測定結果 (単位：pg-TEQ/L)

水域名	測定地点名	測定結果					環境基準
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
養老川上流	持田崎橋	0.023	0.043	0.035	0.017	0.023	1以下
小櫃川上流	門生橋	—	—	—	0.096	—	
御腹川	御腹川橋	—	—	—	0.089	—	
亀山ダム貯水池	堤体直上流部	0.041	0.086	0.19	0.099	0.066	

出典：「平成21～25年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（平成22年12月～27年3月 環境省）

(7) 地下水水質の状況

ア. 君津市及び市原市における地下水水質測定結果

事業実施区域に最寄りの調査地点における地下水水質の状況は表3-1-4.11に示すとおりであり、全地点で環境基準を達成している。

表3-1-4.11 地下水水質の状況（平成25年度） (単位：mg/L)

市名 地区名 井戸深度 用途区分	君津市		市原市		環境基準*
	向郷 216m 農業用	俵田 73m 一般飲用	折津 100m 一般飲用	朝生原 150m 一般飲用	
カドミウム	不検出	不検出	不検出	不検出	0.003mg/L以下
全シアン	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
鉛	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01mg/L以下
六価クロム	不検出	不検出	不検出	不検出	0.05mg/L以下
砒素	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01mg/L以下
総水銀	不検出	不検出	不検出	不検出	0.0005mg/L以下
アルキル水銀	—	—	—	—	検出されないこと
P.C.B	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
ジクロロメタン	不検出	不検出	不検出	不検出	0.02mg/L以下
四塩化炭素	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002mg/L以下
塩化ビニルモノマー	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	不検出	不検出	不検出	不検出	0.004mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	不検出	不検出	不検出	不検出	0.1mg/L以下
1,2-ジクロロエチレン	不検出	不検出	不検出	不検出	0.04mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	不検出	不検出	不検出	不検出	1mg/L以下
1,1,2-トリクロロエタン	不検出	不検出	不検出	不検出	0.006mg/L以下
トリクロロエチレン	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01mg/L以下
テトラクロロエチレン	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01mg/L以下
1,3-ジクロロプロペン	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002mg/L以下
チウラム	不検出	不検出	不検出	不検出	0.006mg/L以下
シマジン	不検出	不検出	不検出	不検出	0.003mg/L以下
チオベンカルブ	不検出	不検出	不検出	不検出	0.02mg/L以下
ベンゼン	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01mg/L以下
セレン	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01mg/L以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	不検出	不検出	0.13	0.16	10mg/L以下
ふっ素	0.11	不検出	0.13	0.11	0.8mg/L以下
ほう素	不検出	不検出	不検出	不検出	1mg/L以下
1,4-ジオキサン	不検出	不検出	不検出	不検出	0.05mg/L以下

注1) 地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平9.3.13 環告10、最終改正:平26.11.17 環告127)

2) 環境基準は現行の基準値であり、トリクロロエチレンの平成25年度調査時の基準値は0.03mg/Lであった。

3) 不検出: 定量下限値未満、—: 測定していないことを示す。

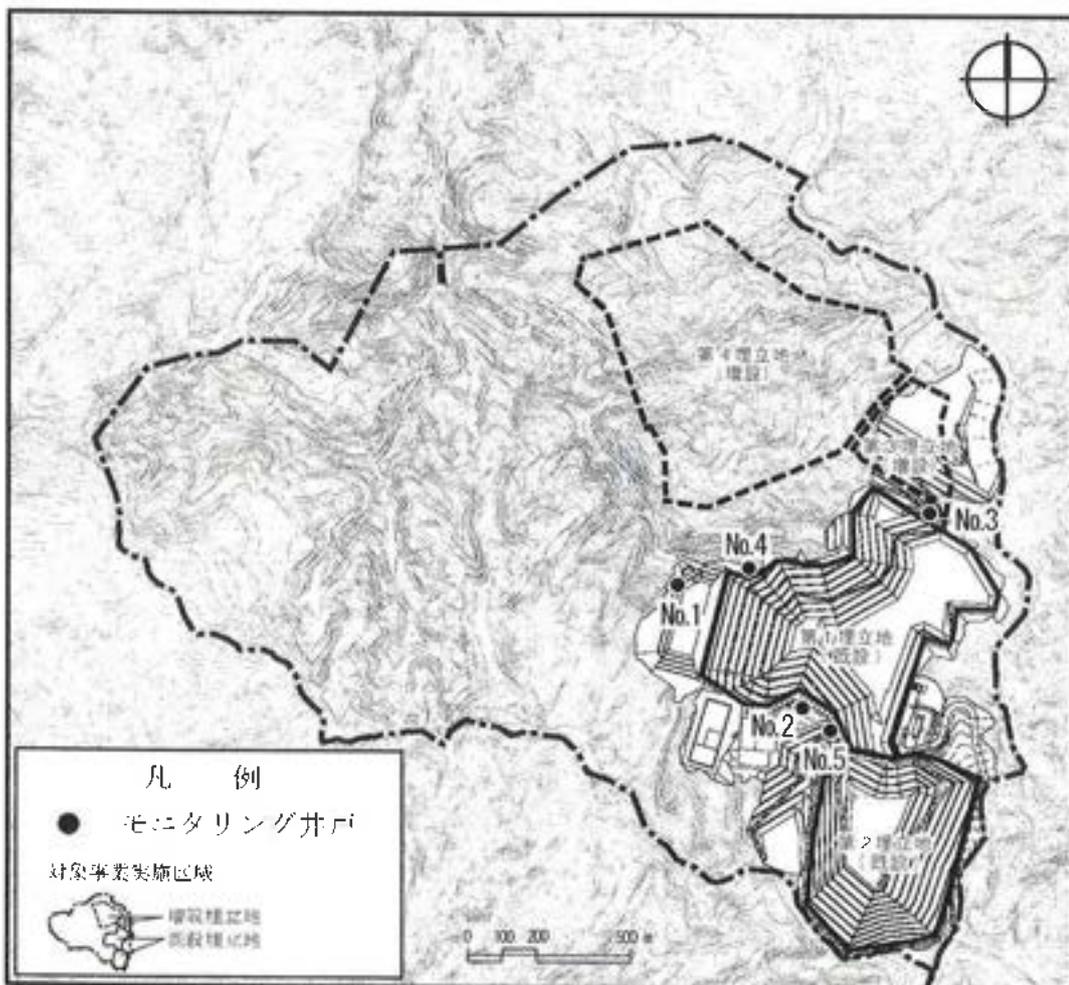
出典:「公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書(平成25年度)」(千葉県環境生活部水質保全課ホームページ)

イ. 君津環境整備センターにおける地下水モニタリング調査結果

君津環境整備センターでは、平成16年4月の開設以来、場内にモニタリング井戸を設置し地下水の水質モニタリングを実施している。平成19年1月からは新たにモニタリング井戸No.4を設置し、モニタリングを開始している。また、平成25年1月からは、当初設置したが水が出ないため採水していなかったモニタリング井戸No.2と、新たに設置したモニタリング井戸No.5において測定を開始している。

モニタリング井戸の位置を図3-1-4.2に、測定結果を表3-1-4.12～16に示す。

地下水の水質汚濁に係る環境基準の対象項目については、モニタリング井戸No.5の平成25,26年度で砒素が環境基準を超えているが、その他の地点、各年度はすべての項目で環境基準を達成している。



注) 平成25年1月より、一時水が出ないために採水していなかったモニタリング井戸No.2及び新規に設置したNo.5において測定を開始した。

出典:「君津環境整備センター環境調査 平成26年度年報」
(平成27年4月 日鉄住金環境株式会社)

図3-1-4.2 モニタリング井戸位置図

表3-1 4.12(1) モニタリング井戸No.1の水質の状況(年度別平均値)

分析項目	単位	通水開始時	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	環境基準
採取回数	回/年	1 (H16.3)	*水質汚濁防止法(有機溶剤)の生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量(1)・7444水銀・ほう素:年度により1~4(22は一部項目を除き2、H23~26は一部項目を除き4)・1.4シロキサン含有量:1/ダイオキシン類:2					—
水温	℃	14.0	19.4(16.8~21.5)	19.0(11.8~21.0)	17.7(15.3~21.3)	17.9(14.4~22.7)	17.8(14.9~21.6)	—
水素イオン濃度指数(pH)	—	7.1	6.9(6.8~7.0)	6.8(6.6~7.2)	7.0(6.7~7.2)	7.3(7.1~7.5)	7.3(7.1~7.6)	—
生物化学的酸素要求量	mg/L	<0.5	<0.5	0.6	0.6*(0.5~1.0)	0.5*(0.5~0.7)	0.6*(0.5~1.1)	—
化学的酸素要求量	mg/L	3.0	2.7	2.3	2.7(1.5~3.5)	3.7(3.4~4.0)	4.1(2.6~5.4)	—
塩化物イオン	mg/L	20	14.8(13~17)	105.7(13~430)	191(79~290)	37.3(29~49)	36.8(18~53)	—
電気伝導率	ms/m	36	67.8(55~74)	88.5(50~160)	104(83~140)	63.7(56~76)	58.1(51~67)	—
カドミウム	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.01-0.03 ²⁾
全シアン	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
六価クロム	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.05
砒素	mg/L	0.009	<0.005	0.007*(0.005~0.007)	0.007*(0.005~0.007)	0.007(0.006~0.008)	0.007*(0.005~0.008)	0.01
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005
PCB	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03-0.01 ³⁾
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
有機燐化合物	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	—
アルキル水銀	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ジクロロメタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.02
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
塩化ビニルモノマー	mg/L	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	1
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
チケラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01
揮発性有機物及び半揮発性有機物	mg/L	0.34	0.03	0.02	0.08	<0.01	0.02	10
ほう素	mg/L	<0.1	<0.1	0.1*(0.1~0.1)	0.1*(0.1~0.2)	0.1(0.1~0.2)	0.1*(0.1~0.1)	0.8
ほう素	mg/L	—	0.05*(0.05~0.05)	0.39*(0.05~1.4)	0.11(0.06~0.15)	0.17(0.14~0.21)	0.12(0.10~0.16)	1
1,4-ジオキサン	mg/L	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05
クロロホルム	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	—
ジブromクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	—
ブromジクロロメタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	—
ブromホルム	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	—	—	—	—
総トリハロメタン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	—	—	—	—
浮遊物質量	mg/L	31	1	<1	15	15	17	—
鉱油類含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	<1	—
動植物油脂類含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	<1	—
フェノール類含有量	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—
銅含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	—
亜鉛含有量	mg/L	1.0	0.99	0.37	0.38	0.19	0.20	—
溶解性鉄含有量	mg/L	1.4	0.66	<0.05	0.07	0.14	1.5	—
溶解性マンガン含有量	mg/L	1.3	<0.05	0.11	1.8	1.4	1.5	—
ナトリウム含有量	mg/L	10	21	28	—	—	—	—
クロム含有量	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	—
カルシウム、マグネシウム等(総)	mg/L	180	410	590	—	—	—	—
過マンガン酸カリウム消費量	mg/L	7.9	5.4	11	—	—	—	—
色度	度	22	2.5	1.6	—	—	—	—
濁度	度	81	7.9	<0.5	—	—	—	—
大腸菌群数	個/cm	0	0	0	0	0	0	—
窒素含有量	mg/L	—	0.2	0.6	0.8	0.5	0.3	—
りん含有量	mg/L	—	0.08	0.06	0.05	0.09	0.08	—
ダイオキシン類	ng/kg	—	0.00046 (0.00017~0.00074)	0.015	0.016 (0.015~0.016)	0.016	0.015	1 ⁵⁾

注1) 地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平9.3.13 環告10、最終改正:平26.11.17 環告127)
 2) 平成23年度からカドミウムの基準値は、従前の0.01 mg/Lから0.003 mg/Lに変更された。(平23.10.27 環告94)
 3) 平成26年度からトリクロロエチレンの基準値は、従前の0.03 mg/Lから0.01 mg/Lに変更された。(平26.11.17 環告127)
 4) ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁及び土壌汚染に係る環境基準について(平成11.12.27 環告68)
 5) <: 定値下限値未達、(): 測定値の(最小値~最大値)、*: 定値下限値未達を定値下限値に置き換えて平均値を算出した値
 出典:「岩手県環境整備センター環境調査年報」(平成22~23年度:株式会社日鉄ウォーター、平成24~26年度:日鉄住金環境株式会社)

表 3-1 4.12(2) モニタリング井戸No.1の水質の状況(平成26年度・月別)

分析項目		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	環境基準	
採取状況	採取日	—	4/7	5/12	6/2	7/7	8/4	9/1	10/8	11/10	12/10	1/5	2/2	3/2	—	
	採取時刻	—	8:54	9:50	9:47	9:25	9:10	9:50	12:34	8:50	9:05	10:55	9:25	8:55	—	
	水温	℃	17.7	18.6	19.7	18.9	21.6	18.3	18.7	17.0	16.0	16.0	16.3	14.9	—	
	水位 ¹⁾	m	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
分析結果	水素イオン濃度指数(pH)	—	7.1	7.1	7.1	7.2	7.1	7.5	7.2	7.3	7.6	7.3	7.5	—	—	
	生物学的酸素要求量	mg/L	<0.5	<0.5	0.6	<0.5	<0.5	0.6	0.5	<0.5	1.1	0.6	<0.5	<0.5	—	
	化学的酸素要求量	mg/L	3.6	4.6	3.7	2.6	3.7	3.6	3.7	4.5	4.2	4.7	5.4	4.9	—	
	塩化物イオン	ms/m	54	55	54	52	43	36	31	28	32	19	18	20	—	
	電気伝導率	mg/L	65	67	66	64	60	56	53	53	51	52	54	56	—	
	カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
	全シアン	mg/L	不検出	不検出												
	鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
	六価クロム	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05
	砒素	mg/L	<0.005	0.006	0.006	0.006	0.007	0.007	0.005	0.005	0.008	0.007	0.007	0.006	0.01	
	総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005
	PCB	mg/L	不検出	不検出												
	トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 ²⁾
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
	有機燐化合物	mg/L	不検出	不検出												
	アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不検出	不検出
	ジクロロメタン	mg/L	—	—	<0.001	—	—	<0.001	—	—	<0.001	—	—	<0.001	0.02	
	四塩化炭素	mg/L	—	—	<0.0002	—	—	<0.0002	—	—	<0.0002	—	—	<0.0002	0.002	
	塩化ビニルモノマー	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	0.002
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	<0.0004	—	—	<0.0004	—	—	<0.0004	—	—	<0.0004	0.004	
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	<0.001	—	—	<0.001	—	—	<0.001	—	—	<0.001	0.1	
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	<0.001	—	—	<0.001	—	—	<0.001	—	—	<0.001	—	
	1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	<0.001	—	—	<0.001	—	—	<0.001	—	—	<0.001	0.04	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	<0.001	—	—	<0.001	—	—	<0.001	—	—	<0.001	1	
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	<0.0006	—	—	<0.0006	—	—	<0.0006	—	—	<0.0006	0.006	
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	<0.0002	—	—	<0.0002	—	—	<0.0002	—	—	<0.0002	0.002	
	チウラム	mg/L	—	—	<0.0006	—	—	<0.0006	—	—	<0.0006	—	—	<0.0006	0.006	
	シマジン	mg/L	—	—	<0.0003	—	—	<0.0003	—	—	<0.0003	—	—	<0.0003	0.003	
	チオベンカルブ	mg/L	—	—	<0.002	—	—	<0.002	—	—	<0.002	—	—	<0.002	0.02	
	ベンゼン	mg/L	—	—	<0.001	—	—	<0.001	—	—	<0.001	—	—	<0.001	0.01	
セレン	mg/L	—	—	<0.002	—	—	<0.002	—	—	<0.002	—	—	<0.002	0.01		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.02	10	
ふっ素	mg/L	—	—	0.1	—	—	<0.1	—	—	0.1	—	—	<0.1	0.8		
ほう素	mg/L	—	—	0.16	—	—	0.13	—	—	0.10	—	—	0.10	1		
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	0.05		
浮遊物質	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17	—	
鉱油類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<1	—	
動植物油脂類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<1	—	
フェノール類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	
銅含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	
亜鉛含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.20	—	
溶解性鉄含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.5	—	
溶解性マンガン含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.5	—	
クロム含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.03	—	
大腸菌群数	個/cm ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	
窒素含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.3	—	
りん含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.08	—	
ダイオキシン類	ng-TEQ/L	—	—	—	0.015	—	—	—	—	—	—	0.015	—	—	1 ³⁾	

注1) 地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平成9.3.13 環告10、最終改正:平成26.11.17 環告127)

2) 平成26年度からトリクロロエチレンの基準値は、従前の0.03 mg/Lから0.01 mg/Lに変更された。(平成26.11.17 環告127)

3) ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁及び土壌汚染に係る環境基準について(平成11.12.27 環告68)

4) 水位は管頭から水面までの距離。本地点は計測していない。

5) <: 定量下限値未満

6) モニタリング井戸No.1の諸元: 井戸管頭高さ 140.6m、井戸深度 25.0m、ストレナーの位置 115.6~123.6m

出典: 「君津環境整備センター環境調査 平成26年度年報」(平成27年4月 F1鉄住金環境株式会社)

表3 1-4.13(1) モニタリング井No.2の水質の状況(年度別平均値)

分析項目	単位	通水開始時	24年度	25年度	26年度	環境 ²⁾ 基準
採取回数	回/年	1 (125.1)	・水素イオン濃度指数～有機磷化合物:1124は3(125年1月より測定開始)、 1125～26は12/・アルキル水銀～りん含有量:1			—
水温	℃	13.5	13.1(12.5～13.6)	17.1(9.1～21.6)	19.4(12.5～30.2)	—
水素イオン濃度指数(pH)	—	8.0	8.0(7.8～8.3)	8.0(7.7～8.4)	7.9(7.7～8.0)	—
生物化学的酸素要求量	mg/L	<0.5	0.9*(<0.5～1.4)	0.6*(<0.5～0.9)	0.9*(<0.5～1.9)	—
化学的酸素要求量	mg/L	2.2	1.5(1.2～1.7)	1.1(0.9～1.3)	1.5(0.9～2.8)	—
塩化物イオン	mg/L	11	10.7(10～11)	11(10～12)	11(10～12)	—
電気伝導率	ms/m	51	52.3(50～56)	52.3(50～54)	52.3(50～54)	—
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
全シアン	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
六価クロム	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005
PCB	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03-0.01 ³⁾
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
有機磷化合物	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	—
アルキル水銀	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ジクロロメタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.02
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
塩化ビニルモノマー	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1
1,1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.04
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	1
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.29	0.14	0.58	0.32	10
ふっ素	mg/L	0.2	0.2	0.2	<0.1	0.8
ほう素	mg/L	0.51	0.12	0.13	0.12	1
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05
浮遊物質量	mg/L	5	<1	<1	<1	—
鉱油類含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	—
動植物油脂類含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	—
フェノール類含有量	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—
銅含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	—
亜鉛含有量	mg/L	2.4	1.3	1.2	2.7	—
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	—
溶解性マンガン含有量	mg/L	0.08	0.08	0.07	0.06	—
クロム含有量	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	—
大腸菌群数	個/cm ²	0	0	0	0	—
窒素含有量	mg/L	3.4	3.5	2.4	1.7	—
りん含有量	mg/L	0.06	0.03	0.02	0.02	—

注1) 地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平9.3.13 環告10、最終改正:26.11.17 環告127)

2) 平成26年度からトリクロロエチレンの基準値は、従前の0.03 mg/Lから0.01 mg/Lに変更された。(平26.11.17 環告127)

3) <: 定量下限値未満、(): 測定値の(最小値～最大値)、*: 定量下限値未満を定量下限値に置き換えて平均値を算出した値

出典:「川津環境整備センター環境調査年報」(平成24～26年度:日鉄住金環境株式会社)

表3-1-4.13(2) モニタリング井戸No.2の水質の状況(平成26年度・月別)

分析項目		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	環境 基準	
採取 状況	採取日	—	4/7	5/12	6/2	7/7	8/4	9/1	10/8	11/10	12/10	1/5	2/2	3/2	—	
	採取時刻	—	10:25	9:37	9:25	9:00	12:10	8:57	12:00	9:35	10:30	10:15	12:49	11:15	—	
	水温	℃	16.6	18.5	23.2	19.4	30.2	22.9	25.6	20.4	12.5	14.2	15.0	14.5	—	
	水位 ³⁾	m	74.5	74.5	74.6	74.6	74.3	74.0	74.4	74.9	74.4	74.4	74.4	74.4	—	
分 析 結 果	水素イオン濃度指数(pH)	—	7.7	7.8	7.8	7.8	7.8	7.9	8.0	7.9	7.8	8.0	8.0	7.9	—	
	生物化学的酸素要求量	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	1.1	1.6	0.7	0.7	0.9	1.3	1.9	0.8	—	
	化学的酸素要求量	mg/L	1.2	1.3	0.9	1.0	1.9	1.2	1.2	1.4	1.2	2.0	2.8	1.3	—	
	塩化物イオン	ms/m	11	12	11	11	12	11	11	12	10	10	10	11	—	
	電気伝導率	mg/L	53	52	54	50	51	51	53	54	54	51	53	52	—	
	カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
	全シアン	mg/L	不検出	不検出												
	鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
	六価クロム	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05
	砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
	総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005
	PCB	mg/L	不検出	不検出												
	トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 ⁵⁾
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
	有機燐化合物	mg/L	不検出	—												
	アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不検出	不検出
	ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	0.02
	四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	0.002
	塩化ビニルモノマー	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	0.002
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0004	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	0.1
	シス 1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—
	1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	0.01
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	1
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	0.002
	チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	0.006
	シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0003	0.003
	チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	0.02
	ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	0.01
セレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	0.01	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.32	10	
ふっ素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	0.8	
ほう素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.12	1	
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	0.05	
浮遊物質	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<1	—	
鉱油類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<1	—	
動植物油脂類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<1	—	
フェノール類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	
銅含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	
亜鉛含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.7	—	
溶解性鉄含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	
溶解性マンガン含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.06	—	
クロム含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.03	—	
大腸菌群数	個/cm ³	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	
窒素含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7	—	
りん含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.02	—	

注1) 地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平成9.3.13 環告10、最終改正:26.11.17 環告127)

2) 平成26年度からトリクロロエチレンの基準値は、従前の0.03 mg/Lから0.01 mg/Lに変更された。(平26.11.17 環告127)

3) 水位は管頭から水面までの距離

4) <: 定量下限値未満

5) モニタリング井戸No.2の諸元: 井戸管頭高さ 187.5m、井戸深度 20.0m、ストレージャックの位置 167.0~175.0m

出典:「君津環境整備センター環境調査 平成26年度年報」(平成27年4月 日鉄住金環境株式会社)

表3 i-4.14(1) モニタリング井戸No.3の水質の状況(年度別平均値)

分析項目	単位	通水開始時 (H16.3)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	環境基準	
採取回数	回/年	1	*水素イオン濃度指数~有機磷化合物:12(ただしH22は欠測により10、H22~23の生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量は1)/*アルキル水銀~りん含有量:1						—
水温	℃	13.2	13.1(9.9~18.9)	16.2(9.9~22.7)	17.9(12.2~23.8)	17.1(14.4~19.6)	17.1(15.0~19.4)	—	
水素イオン濃度指数(pH)	—	7.2	7.0(6.5~7.8)	7.2(6.3~7.8)	6.6(6.2~6.9)	6.8(6.6~6.9)	6.9(6.6~7.4)	—	
生物化学的酸素要求量	mg/L	1.0	<0.5	0.8	0.5*(0.5~0.7)	<0.5	0.6*(0.5~1.1)	—	
化学的酸素要求量	mg/L	2.4	2.0	5.0	5.6(4.9~6.7)	6.5(4.8~7.8)	7.6(6.4~8.9)	—	
塩化物イオン	mg/L	21	17.0(11~50)	178(10~800)	54(15~170)	17.8(13~38)	15.0(12~21)	—	
電気伝導率	ms/m	12	20.8(15~33)	71.5(25~240)	76(63~88)	78.7(74~83)	77.8(74~83)	—	
カドミウム	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.01-0.003 ³⁾	
全シアン	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	0.005*(0.005~0.007)	<0.005	<0.005	<0.005	0.01	
六価クロム	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.05	
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01	
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	
PCB	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03-0.01 ³⁾	
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01	
有機磷化合物	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	—	
アルキル水銀	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
ジクロロメタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.02	
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002	
塩化ビニルモノマー	mg/L	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002	
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004	
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1	
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	—	—	<0.001	<0.001	<0.001	0.04	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	1	
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006	
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002	
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006	
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003	
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02	
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01	
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.38	1.3	0.1	<0.1	0.1	0.05	10	
ふっ素	mg/L	0.2	<0.1	0.3	0.1	<0.1	<0.1	0.8	
ほう素	mg/L	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05	1	
1,4-ジオキサン	mg/L	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05	
クロロホルム	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	—	
ジブromクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	—	
ブロモクロロメタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	—	
ブロモホルム	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	—	—	—	—	
総トリハロメタン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	—	—	—	—	
浮遊物質量	mg/L	1	2	2	2	2	4	—	
鉱油類含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	<1	—	
動植物油脂類含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	<1	—	
フェノール類含有量	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	
銅含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	—	
亜鉛含有量	mg/L	16	0.13	0.85	0.26	0.45	0.23	—	
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.05	0.06	1.9	0.06	1.1	1.1	—	
溶解性マンガン含有量	mg/L	<0.05	0.08	1.3	1.5	4.3	5.9	—	
ナトリウム含有量	mg/L	6.1	26	58	—	—	—	—	
クロム含有量	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	—	
カルシウム、マグネシウム等(硬さ)	mg/L	56	110	750	—	—	—	—	
過マンガン酸カリウム消費量	mg/L	4.0	3.8	16	—	—	—	—	
色度	度	1.6	1.4	2.6	—	—	—	—	
濁度	度	<0.5	1.8	8.7	—	—	—	—	
大腸菌群数	個/cu	0	0	0	0	0	0	—	
窒素含有量	—	—	—	—	0.7	1.1	1.0	—	
りん含有量	mg/L	—	—	—	<0.01	<0.01	0.01	—	

注1) 地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平9.3.13 環告10、最終改正:平26.11.17 環告127)
 2) 平成23年度からカドミウムの基準値は、従前の0.01 mg/Lから0.003 mg/Lに変更された。(平23.10.27 環告94)
 3) 平成26年度からトリクロロエチレンの基準値は、従前の0.03 mg/Lから0.01 mg/Lに変更された。(平26.11.17 環告127)
 4) <: 定量下限値未満、(): 測定値の(最小値~最大値)、*: 定量下限値未満を定量下限値に置き換えて平均値を算出した値
 出典: 「岩津環境整備センター環境調査年報」(平成22~23年度: 株式会社日鉄ウォーター、平成24~26年度: 日鉄住金環境株式会社)

表3-1-4.14(2) モニタリング井戸No.3の水質の状況(平成26年度・月別)

分析項目		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	環境 ¹⁾ 基準	
採取状況	採取日	—	4/7	5/12	6/2	7/7	8/4	9/1	10/8	11/10	12/10	1/5	2/2	3/2	—	
	採取時刻	—	9:23	10:18	10:06	10:05	9:38	10:15	12:58	9:10	9:27	13:08	11:14	10:12	—	
	水温	℃	16.1	17.4	18.0	16.9	19.4	16.8	17.8	16.7	16.5	17.9	15.0	16.4	—	
	水位 ²⁾	m	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
分析結果	水素イオン濃度指数(pH)	—	6.7	6.7	6.7	6.6	6.7	6.9	7.4	6.7	6.7	7.2	6.9	7.2	—	
	生物学的酸素要求量	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	1.1	<0.5	<0.5	
	化学的酸素要求量	mg/L	6.5	7.7	7.5	6.4	7.7	7.6	7.1	8.0	7.2	8.6	8.9	8.4	—	
	塩化物イオン	ms/m	16	15	15	14	16	15	21	18	14	12	12	12	—	
	電気伝導率	mg/L	78	80	81	78	78	83	79	78	76	75	74	74	—	
	カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
	全シアン	mg/L	不検出	不検出												
	鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
	六価クロム	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05
	砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
	総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005
	PCB	mg/L	不検出	不検出												
	トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 ²⁾
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
	有機磷化合物	mg/L	不検出	—												
	アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不検出	不検出
	ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	0.02
	四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	0.002
	塩化ビニルモノマー	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0004	0.004
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	0.01
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	0.01
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	0.01
	1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	0.01
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	1
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	0.006
	1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	0.002
	チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	0.006
	シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0003	0.003
	チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	0.02
	ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	0.01
	セレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	0.01
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.05	10
	ふっ素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.1	0.8
	ほう素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	1
	1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	0.05
浮遊物質	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	
鉱油類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<1	—	
動植物油脂類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<1	—	
フェノール類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	
銅含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	
亜鉛含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.23	—	
溶解性鉄含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.1	—	
溶解性マンガン含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.9	—	
クロム含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.03	—	
大腸菌群数	個/cm ³	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	
窒素含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	—	
りん含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01	—	

注1) 地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平成9.3.13 環告10、最終改正:平成26.11.17 環告127)

2) 平成26年度からトリクロロエチレンの基準値は、従前の0.03 mg/Lから0.01 mg/Lに変更された。(平成26.11.17 環告127)

3) 水位は管頭から水面までの距離。本地点は計測していない。

4) <: 定量下限値未満

5) モニタリング井戸No.3の諸元: 井戸管頭高さ 199.7m、井戸深度 20.0m、ストレーナーの位置 179.7~183.7m

出典: 「若津環境整備センター環境調査 平成26年度年報」(平成27年4月 日鉄住金環境株式会社)

表3-1-4.15(1) モニタリング井戸No.4の水質の状況(年度別平均値)

分析項目	単位	通水開始時 1 (1119.1)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	環境 基準
採取回数	回/年	1 (1119.1)	・水素イオン濃度指数～有機磷化合物:12(ただしH23は欠測のため11、H22～23の 生物化学的酸素要求量, 化学的酸素要求量は1) / アルキル水銀～りん含有量:1					—
水温	℃	14.4	16.2(15.1～16.8)	16.0(11.5～17.5)	17.1(14.9～21.5)	17.1(13.4～19.1)	17.3(14.8～21.1)	—
水素イオン濃度指数(pH)	—	6.8	6.7(6.6～6.9)	6.7(6.5～6.9)	6.7(6.4～6.8)	6.9(6.7～7.1)	6.9(6.6～7.1)	—
生物化学的酸素要求量	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	0.5*(0.5～0.5)	0.5*(0.5～0.6)	0.6*(0.5～1.1)	—
化学的酸素要求量	mg/L	2.2	3.1	2.5	2.4(1.9～3.0)	2.4(1.6～3.6)	2.5(1.5～3.9)	—
塩化物イオン	mg/L	20	15.2(13～18)	31.2(14～98)	21(12～32)	15.4(13～20)	15.6(14～19)	—
電気伝導率	ms/m	82	70.8(58～76)	75.3(49～95)	72(64～79)	72.3(66～77)	77.3(70～82)	—
カドミウム	mg/L	<0.002	0.0028* (<0.002～0.007)	0.0022* (<0.002～0.003)	<0.0003	<0.0003	0.0003* (<0.0003～0.0004)	0.01-0.003
全リン	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
鉛	mg/L	0.006	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005* (<0.005～0.007)	0.01
六価クロム	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.05
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005
PCB	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03-0.01
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
有機磷化合物	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	—
アルキル水銀	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ジクロロメタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.02
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
塩化ビニルモノマー	mg/L	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001	0.04
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	1
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.02	<0.01	0.16	<0.01	<0.01	0.03	10
ふっ素	mg/L	<0.1	<0.1	0.3	0.1	<0.1	<0.1	0.8
ほう素	mg/L	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05	1
1,4-ジオキサン	mg/L	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05
クロロホルム	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	—
ジブロモクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	—
ブロモジクロロメタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	—
ブロモホルム	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	—	—	—	—
総トリハロメタン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	—	—	—	—
浮遊物質	mg/L	2	4	<1	<1	21	25	—
鉱油類含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	<1	—
動植物油脂類含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	<1	—
フェノール類含有量	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.009	—
銅含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	—
亜鉛含有量	mg/L	8.2	2.0	0.91	0.07	0.32	2.6	—
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.05	0.40	0.06	<0.05	1.1	11	—
溶解性マンガン含有量	mg/L	0.33	<0.05	<0.05	<0.05	0.09	0.06	—
ナトリウム含有量	mg/L	40	21	22	—	—	—	—
クロム含有量	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	—
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	480	440	450	—	—	—	—
過マンガン酸カリウム消費量	mg/L	4.4	5.9	4.9	—	—	—	—
色度	度	1.3	2.9	1.9	—	—	—	—
濁度	度	0.8	12	0.8	—	—	—	—
大腸菌群数	個/cm ²	0	0	0	0	0	0	—
窒素含有量	mg/L	—	—	—	0.1	0.1	0.1	—
りん含有量	mg/L	—	—	—	0.03	0.06	0.07	—

注1) 地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平9.3.13 環告10、最終改正:平26.11.17 環告127)

2) 平成23年度からカドミウムの基準値は、従前の0.01 mg/Lから0.003 mg/Lに変更された。(平23.10.27 環告94)

3) 平成26年度からトリクロロエチレンの基準値は、従前の0.03 mg/Lから0.01 mg/Lに変更された。(平26.11.17 環告127)

4) <: 定量下限値未満、(): 測定値の(最小値～最大値)、*: 定量下限値未満を定量下限値に置き換えて平均値を算出した値

出典: 1) 津市環境整備センター「環境調査年報」(平成22～23年度: 株式会社F1鉄ウオーター、平成24～26年度: F1鉄住金環境株式会社)

表 3-1-4.15(2) モニタリング井戸No.4 の水質の状況 (平成 26 年度・月別)

分析項目		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	環境 ¹⁾ 基準
採取状況	採取日	—	4/7	5/12	6/2	7/7	8/4	9/1	10/8	11/10	12/10	1/5	2/2	3/2	—
	採取時刻	—	9:50	10:34	10:27	9:55	9:50	10:04	13:13	9:20	9:39	10:00	8:49	9:59	—
	水温	℃	16.7	18.6	19.4	17.2	18.9	17.6	21.1	16.4	15.8	15.0	14.8	15.6	—
	水位 ³⁾	m	47.2	47.3	47.4	46.3	47.5	47.5	47.6	47.6	47.8	47.9	48.1	47.9	—
	水素イオン濃度指数(pH)	—	6.9	7.0	6.9	6.6	6.7	6.8	7.0	6.6	6.7	7.1	6.8	7.1	—
	生物学的酸素要求量	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	0.8	0.6	<0.5	1.1	<0.5	<0.5	0.5	<0.5	<0.5	—
	化学的酸素要求量	mg/L	2.7	2.3	1.6	1.5	2.2	2.3	2.3	2.9	2.6	3.2	3.0	3.9	—
	塩化物イオン	ms/m	15	14	17	17	15	15	19	15	15	15	16	14	—
	電気伝導率	mg/L	70	71	76	76	78	78	78	82	80	81	77	80	—
	カドミウム	mg/L	<0.0003	0.0004	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
	全シアン	mg/L	不検出												
	鉛	mg/L	<0.005	0.007	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
	六価クロム	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05
	砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
	総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005
	PCB	mg/L	不検出												
	トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 ²⁾
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
	有機リン化合物	mg/L	不検出	—											
	アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不検出	不検出
	ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	0.02
分	四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	0.002
	塩化ビニルモノマー	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	0.002
析	1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0004	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	0.1
	シス-1,2 ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—
	1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	0.04
	1,1,1 トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	1
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	0.002
	チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	0.006
	シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0003	0.003
	チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	0.02
果	ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	0.01
	セレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	0.01
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.03	10
	ふっ素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.1	0.8
	ほう素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	1
	1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	0.05
	浮遊物質量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	—
	鉱油類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<1	—
	動植物油脂類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<1	—
	フェノール類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.009	—
	銅含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—
	亜鉛含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.6	—
	溶活性鉄含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	—
	溶活性マンガン含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.06	—
	クロム含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.03	—
大腸菌群数	個/cm ³	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	
窒素含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	—	
りん含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.07	—	

注 1) 地下水の水質汚濁に係る環境基準について (平 9. 3. 13 環告 10、最終改正：平 26. 11. 17 環告 127)

2) 平成 26 年度からトリクロロエチレンの基準値は、従前の 0.03 mg/L から 0.01 mg/L に変更された。(平 26. 11. 17 環告 127)

3) 水位は管頭から水面までの距離

4) <：定量下限値未満

5) モニタリング井戸 No. 4 の諸元：井戸管頭高さ 166.3m、井戸深度 50.0m、ストレーナーの位置 116.3~124.3m

出典：「君津環境整備センター環境調査 平成 26 年度年報」(平成 27 年 4 月 日鉄住金環境株式会社)

表3 1・4.16(1) モニタリング井戸No.5の水質の状況(年度別平均値)

分析項目	単位	通水開始時	24年度	25年度	26年度	環境基準
採取回数	回/年	1 (H25.1)	・水素イオン濃度指数～有機リン化合物:H24は3(H25年1月より測定開始)、 H25は12、H26は10 / ・アルキル水銀～りん含有量:H24,25は1、H26は0			—
水温	℃	14.7	14.5(13.5～15.5)	16.2(13.6～17.6)	17.0(14.2～19.0)	—
水素イオン濃度指数(pH)	—	6.8	6.8	7.0(6.8～7.2)	7.1(6.8～7.3)	—
生物化学的酸素要求量	mg/L	<0.5	<0.5	0.6*(0.5～0.9)	0.7*(0.5～0.9)	—
化学的酸素要求量	mg/L	2.2	2.0(1.9～2.0)	2.3(1.7～4.1)	2.6(0.9～3.9)	—
塩化物イオン	mg/L	11	11(10～12)	12(11～15)	13(12～14)	—
電気伝導率	ms/m	79	74(71～77)	63.7(55～71)	50.7(45～54)	—
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
全シアン	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	0.008*(0.005～0.022)	0.01
六価クロム	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	0.016*(0.005～0.067)	0.020(0.007～0.070)	0.01
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005
PCB	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03-0.01 ²⁾
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
有機リン化合物	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	—
アルキル水銀	mg/L	不検出	不検出	不検出	—	不検出
ジクロロメタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	—	0.02
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.002	<0.002	—	0.002
塩化ビニルモノマー	mg/L	<0.0002	<0.002	<0.002	—	0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.004	<0.004	—	0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	—	0.1
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	—	0.04
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	—	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	—	1
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.006	<0.006	—	0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	0.002
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	0.006
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	0.003
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	—	0.02
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	—	0.01
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	—	0.01
揮発性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.14	<0.1	<0.1	—	10
ふっ素	mg/L	0.1	<0.1	<0.1	—	0.8
ほう素	mg/L	0.27	<0.05	<0.05	—	1
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	—	0.05
浮遊物質	mg/L	4	4	40	—	—
鉱油類含有量	mg/L	<1	<1	<1	—	—
動植物油類含有量	mg/L	<1	<1	<1	—	—
フェノール類含有量	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	—	—
銅含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	—	—
亜鉛含有量	mg/L	0.09	<0.05	<0.05	—	—
溶解性鉄含有量	mg/L	2.2	0.12	1.0	—	—
溶解性マンガン含有量	mg/L	1.1	0.88	0.19	—	—
クロム含有量	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	—	—
大腸菌数	個/cm	0	0	0	—	—
窒素含有量	mg/L	0.4	0.2	0.3	—	—
りん含有量	mg/L	0.04	0.04	0.22	—	—

注1) 地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平9.3.13 環告10、最終改正:平26.11.17 環告127)

2) 平成26年度からトリクロロエチレンの基準値は、従前の0.03 mg/Lから、0.01 mg/Lに変更された。(平26.11.17 環告127)

3) <: 定量下限値未満、(): 測定値の(最小値～最大値)、*: 定量下限値未満を定量下限値に置き換えて平均値を算出した値

4) 〇〇〇〇は環境基準を未達成

出典:「君津環境整備センター環境調査年報」(平成24～26年度:日鉄住金環境株式会社)

表3-1-4.16(2) モニタリング井戸No.5の水質の状況(平成26年度・月別)

分析項目		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	環境 ¹⁾ 基準	
採取状況	採取口	—	4/7	5/12	6/2	7/7	8/4	9/1	10/8	11/10	12/10	1/5	—	—	—	
	採取時刻	—	10:00	10:47	10:44	8:55	11:28	10:31	10:48	9:45	11:19	11:27	—	—	—	
	水温	℃	16.1	17.9	19.0	18.2	18.9	16.3	18.2	16.4	14.2	14.5	—	—	—	
	水位 ²⁾	m	46.5	46.0	46.1	45.8	46.7	46.7	46.3	46.2	46.0	—	—	—	—	
分析	水素イオン濃度指数(pH)	—	7.2	7.0	7.1	6.9	6.8	7.1	7.2	6.9	7.0	7.3	—	—	—	
	生物化学的酸素要求量	mg/L	0.8	0.7	0.7	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.6	0.9	0.8	—	—	
	化学的酸素要求量	mg/L	3.0	3.2	2.3	0.9	3.9	2.5	2.1	3.0	2.3	2.9	—	—	—	
	塩化物イオン	ms/m	12	14	12	12	13	12	13	13	12	13	—	—	—	
	電気伝導率	mg/L	52	54	54	53	53	51	50	49	46	45	—	—	—	
	カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	0.003
	全シアン	mg/L	不検出	—	—	不検出										
	鉛	mg/L	0.008	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.014	0.022	—	—	0.01
	六価クロム	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	—	0.05
	砒素	mg/L	0.070	0.033	0.021	0.007	0.017	0.007	0.008	0.015	0.010	0.012	—	—	—	0.01
	総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	0.0005
	PCB	mg/L	不検出	—	—	不検出										
	トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	0.01 ³⁾
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	0.01
	有機燐化合物	mg/L	不検出	—	—	—										
	アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不検出
	ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.02
	四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.002
	塩化ビニルモノマー	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.002
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.002
	チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.005
	シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.003
	チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.02
	ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01
	セレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10
	ふっ素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8
ほう素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.05	
浮遊物質	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
鉱油類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
動植物油脂類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
フェノール類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
銅含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
亜鉛含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
溶解性鉄含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
溶解性マンガン含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
クロム含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
大腸菌群数	個/cm ³	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
窒素含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
りん含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

注1) 地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平成9.3.13 環告10、最終改正:26.11.17 環告127)

2) 平成26年度からトリクロロエチレンの基準値は、従前の0.03 mg/Lから0.01 mg/Lに変更された。(平26.11.17 環告127)

3) 水位は管頭から水面までの距離

4) <: 定量下限値未満

5) モニタリング井戸No.5の諸元: 井戸管頭高さ 196.1m、井戸深度 50.7m、ストレーナーの位置 153.4~145.4m

6) 2月と3月は、水がなかったため測定不能であった。

出典:「若津環境整備センター環境調査 平成26年度年報」(平成27年4月 日鉄住金環境株式会社)

5. 水底の底質の状況

(1) 君津市及び市原市における底質調査結果

事業実施区域周辺の河川等の底質のダイオキシン類の測定結果は表3-1-5.1に示すとおりであり、底質に係る環境基準を達成している。

表3-1-5.1 底質のダイオキシン類測定結果

(単位：pg-TEQ/g)

水 域 名	測定地点名	測 定 結 果					環境基準
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
養老川上流	持田崎橋	0.31	0.17	0.19	0.12	0.20	150以下
御腹川	御腹川橋	—	—	—	0.11	—	
亀山ダム貯水池	堤体直上流部	—	17	—	—	—	

出典：「平成21～25年度 ダイオキシン類に係る環境調査結果」（平成22年12月～27年3月 環境省）

(2) 「H21 環境影響評価書」における調査結果

「H21 環境影響評価書」によると、平成18年8月及び平成19年1月に御腹川の水質調査地点（図3-1-4.1中の①～④）で実施した底質調査結果は、溶出量については、参考にした水質に係る環境基準を下回る濃度を示しているが、調査地点①で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、ダイオキシン類が他の地点より高い値を示している。これらの項目については、ダイオキシン類以外は水質の調査結果でも高い値を示している。なお、銅、亜鉛等は各地点とも同様な値を示している。

また、含有量については、ダイオキシン類は環境基準を下回っており、総水銀、PCBについても、底質の暫定除去基準を下回っている。有機物質では、調査地点①で化学的酸素要求量が他の地点より高い値がみられるが、他の項目は各地点ともほぼ同様な値を示している。調査地点①の化学的酸素要求量は水質でも他の地点より高い値になっており、浸出水処理水の影響を受けていると考えられる。

表 3-1-5.2(1) 底質現地調査結果 (溶出量)

項目	単位	調査地点					環境基準 (参考)	
		①	②'	②	③	④		
有害物質等	カドミウム	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	(0.01)
	全シアン	mg/l	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	(不検出)
	鉛	mg/l	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	(0.01)
	六価クロム	mg/l	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	(0.05)
	砒素	mg/l	0.003	0.002	0.001	0.002	0.002	(0.01)
	総水銀	mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	(0.0005)
	アルキル水銀	mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	(不検出)
	PCB	mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	(不検出)
	セレン	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	(0.01)
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	mg/L	0.29	<0.05	0.09	0.07	0.16	(10)
	ふっ素	mg/L	0.5	<0.1	0.1	0.1	<0.1	(0.8)
	ほう素	mg/l	0.10	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	(1)
	銅	mg/l	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	—
	亜鉛	mg/l	0.010	0.009	0.006	0.007	0.006	—
	鉄	mg/l	3.6	9.7	2.7	2.7	2.5	—
	マンガン	mg/l	0.07	<0.05	<0.05	0.05	0.07	—
	クロム	mg/l	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.36	0.024	0.034	0.023	0.023	(1)	

注1) 調査年：平成18年8月、平成19年1月

2) 濃度：調査地点①、②、③、④は年2回の平均値、調査地点②'は年1回の測定値

3) <：定量下限値未満

4) 環境基準は、水質汚濁に係る環境基準を参考に示した。

出典：「君津環境整備センター増設事業に係る環境影響評価書」(平成21年5月 新井総合施設株式会社)

表 3-1-5.2(2) 底質現地調査結果 (含有量)

項目	単位	調査地点					環境基準等	
		①	②'	②	③	④		
有害物質等	カドミウム	mg/kg	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	—
	全シアン	mg/kg	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	鉛	mg/kg	4.2	1.6	2.8	2.9	2.6	—
	六価クロム	mg/kg	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	砒素	mg/kg	1.5	1.3	2.3	1.4	1.6	—
	総水銀	mg/kg	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	25
	アルキル水銀	mg/kg	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	PCB	mg/kg	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	10
	セレン	mg/kg	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	—
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	mg/kg	1.4	0.9	0.8	0.6	1.4	—
	ふっ素	mg/kg	26	22	21	23	23	—
	ほう素	mg/kg	7.7	3.5	4.9	5.2	4.7	—
	銅	mg/kg	9.2	4.3	7.3	7.0	6.6	—
	亜鉛	mg/kg	57	25	45	43	46	—
	鉄	mg/kg	18,500	9,400	22,500	20,500	21,000	—
	マンガン	mg/kg	260	130	255	610	370	—
	クロム	mg/kg	73	83	74	38	41	—
ダイオキシン類	pg-TEQ/g	0.59	0.16	0.22	0.17	0.19	150	
有機物質	硫化物	mg/g	0.03	0.04	0.04	0.02	0.04	—
	強熱減量	%	2.1	0.7	1.0	1.9	0.9	—
	化学的酸素要求量	mg/g	7.4	0.3	0.5	0.5	0.5	—

注1) 調査年：平成18年8月、平成19年1月

2) 濃度：調査地点①、②、③、④は年2回の平均値、調査地点②'は年1回の測定値

3) <：定量下限値未満

4) ダイオキシン類に係る基準値は、「ダイオキシン類対策特別措置法に基づくダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁(水底の底質の汚染を含む。)及び土壌の汚染に係る環境基準」に基づく。総水銀及びPCBの基準値は、「底質の暫定除去基準について」(昭和50年10月 衆水管119号)に基づく。

出典：「君津環境整備センター増設事業に係る環境影響評価書」(平成21年5月 新井総合施設株式会社)

6. 騒音の状況

(1) 君津市及び市原市における騒音測定結果

ア. 道路交通騒音の状況

千葉県では自動車交通騒音について面的評価及び点的評価を行っている。そのうち、平成25年度に君津市及び市原市で測定された結果は、表3-1-6.1に示すとおりである。

環境基準の達成割合は、面的評価では昼間・夜間とも基準値以下は82.5～100.0%、昼間のみ基準値以下は0.0～6.9%、夜間のみ基準値以下は0.0～4.4%、昼間・夜間とも基準値超過は0.0～9.4%となっている。

表3-1-6.1 自動車騒音調査結果（平成25年度・面的評価）

路線名	測定地点の住所	環境基準 類型	車線 数	等価騒音 レベル		面的評価の結果			
				昼間 dB	夜間 dB	昼間・夜 間とも基 準値以下	昼間のみ 基準値以 下	夜間のみ 基準値以 下	昼間・夜 間とも基 準値超過
						%	%	%	%
館山自動車道	君津市三直	B	4	51	41	96.3	0.0	0.0	3.7
一般国道410号	君津市大坂	B	2	57	48	100.0	0.0	0.0	0.0
一般国道410号	君津市青柳	B	2	67	59	82.5	6.9	1.2	9.4
長浦上総線	君津市戸崎	B	2	66	58	100.0	0.0	0.0	0.0
一般国道297号	市原市下矢山	B	2	69	63	100.0	0.0	0.0	0.0
一般国道297号	市原市牛久	B	2	69	65	97.5	0.1	0.0	2.4
一般国道297号	市原市浅井小向	C	2	70	63	100.0	0.0	0.0	0.0
五井本納線	市原市更級2丁目7	B	2	67	64	99.3	0.7	0.0	0.0
五井本納線	市原市能満	B	2	70	64	96.4	0.0	0.2	3.4
大多喜君津線	市原市石神	C	2	62	50	100.0	0.0	0.0	0.0
大多喜君津線	市原市大久保	C	2	61	48	100.0	0.0	0.0	0.0
十気停車場線金剛地線	市原市金剛地	B	2	65	56	100.0	0.0	0.0	0.0
茂原五井線	市原市廿五里	B	2	71	66	97.0	1.5	0.0	1.5
南総月出線	市原市山口	C	2	55	42	100.0	0.0	0.0	0.0
市道3号線(飯香岡通り)	市原市八幡	C	4	60	53	100.0	0.0	0.0	0.0
袖ヶ浦姉ヶ崎停車場線	市原市姉崎	C	2	63	58	100.0	0.0	0.0	0.0
市道4号線(公園通り)	市原市ちはら台南1丁目1	B	4	67	60	95.6	0.0	4.4	0.0

出典：「平成26年版 千葉県環境白書」（平成26年12月 千葉県）

また、市町村は主要幹線道路において自動車騒音要請限度調査を実施している。

君津市及び市原市で測定された結果は、表3-1-6.2に示すとおりであり、すべての地点で自動車騒音の要請限度以下となっている。

表3-1-6.2 自動車騒音要請限度調査結果（平成25年度）

道路名	測定地点	区域の 区分	車線 数	等価騒音レベル (dB)		要請限 度判定
				昼間	夜間	
県道君津鴨川線	君津市内箕輪11地先	b	2	67	61	○
県道加茂木更津線	君津市末吉437地先	b	2	72	64	○

注1) 区域の区分 b 区域：主として住居の用に供される区域

2) 平成25年度は市原市の測定地点はない。

出典：「平成26年版 千葉県環境白書」（平成26年12月 千葉県）

イ. 道路交通騒音の経年変化

君津市及び市原市の平成 21～25 年度における自動車騒音要請限度調査による道路交通騒音の経年変化は、表 3-1-6.3 に示すとおりである。測定したすべての道路は、昼間、夜間ともに横ばいなく減少傾向にある。

表 3-1-6.3 自動車騒音要請限度調査による道路交通騒音の経年変化

道路名	区域の区分	等価騒音レベル (dB)									
		昼間					夜間				
		H21	H22	H23	H24	H25	H21	H22	H23	H24	H25
県道君津鴨川線	b	69	67	69	69	67	63	60	62	61	61
県道加茂木更津線	b	71	69	69	71	72	63	66	61	62	64
県道荻作君津線	b	72	71	70	70	—	67	66	64	64	—
国道 16 号	c	70	71	—	—	—	67	68	—	—	—
国道 297 号 (藤井)	b	70	72	71	—	—	67	68	67	—	—
国道 297 号 (五所)	c	70	71	71	—	—	66	68	67	—	—
県道 24 号 (千葉鴨川線)	c	72	70	69	—	—	66	66	64	—	—

注) 区域の区分 b 区域: 4:として住居の用に供される区域

c 区域: 相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される区域

出典: 「平成 22～26 年版 千葉県環境白書」(平成 23 年 2 月～平成 26 年 12 月 千葉県)

ウ. 環境騒音の状況

平成 23 年度に君津市が、平成 25 年度に市原市が用途地域内で測定した環境騒音の状況は表 3-1-6.4 に示すとおりである。

君津市では、環境基準を達成しているのは昼間については 20 地点のうち 19 地点 (95%)、夜間については 11 地点 (55%) である。また、市原市では、環境基準を達成しているのは昼間については 15 地点のうち 14 地点 (93%)、夜間については 5 地点 (33%) であり、両市とも夜間の環境基準達成率が低くなっている。

表 3-1-6.4 環境騒音における環境基準達成状況 (平成 23・25 年度)

類型区分	地域	君津市 ^{注4)}		市原市	
		昼間 6:00～22:00	夜間 22:00～6:00	昼間 6:00～22:00	夜間 22:00～6:00
A	第1種低層住居専用地域 第2種低層住居専用地域*	11/11 (100%)	8/11 (73%)	3/4 (75%)	2/4 (50%)
	第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域*				
B	第1種住居地域 第2種住居地域*	4/5 (80%)	2/5 (40%)	6/6 (100%)	2/6 (33%)
	準住居地域*				
C	近隣商業地域*、商業地域 準工業地域、工業地域*	4/4 (100%)	1/4 (25%)	5/5 (100%)	1/5 (20%)
	用途地域全体	19/20 (95%)	11/20 (55%)	14/15 (93%)	5/15 (33%)

注1) n/m: nは環境基準適合地点数、mは測定地点数

2) (): 環境基準達成率

3) 君津市では*の用途地域は指定されていない。

4) 君津市では環境騒音の測定を平成 24 年度、25 年度に行っていないため、平成 23 年度の測定結果を示した。

出典: 「平成 24 年度版 きみつの環境」(平成 25 年 3 月 君津市市民環境部環境保全課)

「平成 26 年版 いちはらの環境」(平成 27 年 3 月 市原市)

(2) 「H13 生活環境影響調査書」における調査結果

「H13 生活環境影響調査書」によると、平成10年10月に図3-1-6.1に示す既設埋立地の敷地境界北（地点1）及び蔵玉（林道戸面蔵玉線沿道：地点6）において騒音調査を行っており、その結果は表3-1-6.5に示すとおりである。

等価騒音レベルは既設埋立地の敷地境界北で平均41dB、蔵玉で平均47dBとなっている。これらの調査地点には、環境基準の類型を当てはめる地域の指定はないが、敷地境界北では、類型A地域に相当する環境基準（昼間55dB以下）を達成しており、蔵玉では、A地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域に相当する環境基準（昼間60dB以下）を達成している。

表3-1-6.5 事業実施区域付近の騒音の状況

番号	調査地点	等価騒音レベル (dB)		
		平均	最大 (出現時間帯)	最小 (出現時間帯)
1	敷地境界北 (既設埋立地)	41	45 (12~13時)	36 (18~19時)
6	蔵玉 (林道沿道)	47	51 (7~8時)	40 (13~14時)

注1) 調査年月日：平成10年10月20日(火)7時~19時

2) 平均は7時~19時までのエネルギー平均値 最大、最小は1時間値

3) 地点番号は、図3-1-6.1に対応する。

出典：「若津環境整備センター建設事業 生活環境影響調査書」
(平成13年12月 新井総合施設株式会社)

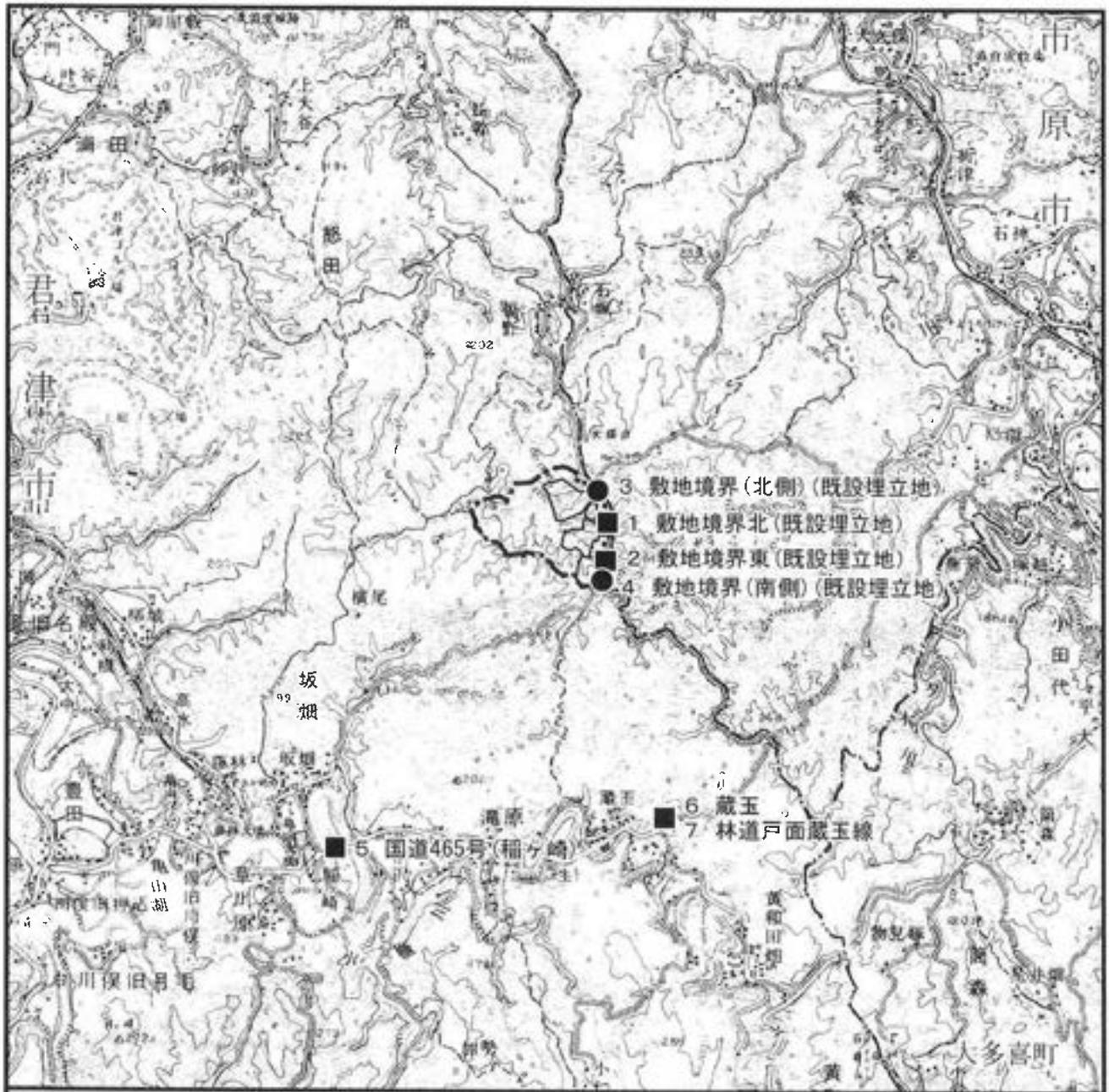


図3 1-6.1 騒音・振動調査地点位置図

凡 例

■ 騒音・振動調査地点

● 騒音調査地点

注：地点番号は、表3 1-6.5～9中の番号に対応する。

地点1, 6 : 013生活環境影響調査書調査

地点3～5, 7 : 021環境影響評価書調査

地点2, 6 : アニタリング調査(年報)

出典：「君津環境整備センター建設事業 生活環境影響調査書」

(平成13年12月 新井総合施設株式会社)

「君津環境整備センター増設事業に係る環境影響評価書」

(平成21年5月 新井総合施設株式会社)

「君津環境整備センター環境調査年報」

(株式会社日鉄ウエーク、日鉄住金環境株式会社)

対象事業実施区域



1 : 50,000



(3) 「H21 環境影響評価書」における調査結果

「H21 環境影響評価書」によると、環境騒音として、平成 19 年 2 月に既設埋立地の敷地境界（北側：地点 3）及び敷地境界（南側：地点 4）、道路交通騒音として、国道 465 号（地点 5）は平成 19 年 3 月、林道戸面蔵玉線（地点 7）は平成 19 年 2 月に騒音調査を実施しており（図 3-1-6.1 参照）、その結果は表 3-1-6.6～8 に示すとおりである。

環境騒音の等価騒音レベルは、既設埋立地の敷地境界（北側）では昼間 46dB、夜間 29dB、敷地境界（南側）では昼間 54dB、夜間 31dB であった。また、時間率騒音レベルの 90% レンジ上端値 (L_{A5}) は、既設埋立地の敷地境界（北側）では昼間 41dB、夜間 28dB、敷地境界（南側）では昼間 47dB、夜間 30dB であった。

道路交通騒音の測定結果は、等価騒音レベルについては、国道 465 号で昼間 65dB、夜間 55dB、林道戸面蔵玉線で昼間 59dB、夜間 38dB であった。

また、廃棄物搬入車両走行時のピーク騒音レベルは、最大値は 91dB、最小値は 67dB、平均値は 81dB であった。

表 3-1-6.6 環境騒音測定結果

調査地点		等価騒音レベル		時間率騒音レベル					
		L_{Aeq} (dB)		L_{A5} (dB)		L_{A10} (dB)		L_{A95} (dB)	
		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
3	敷地境界(北側) (既設埋立地)	46	29	41	28	31	28 未満	29	28 未満
4	敷地境界(南側) (既設埋立地)	54	31	47	30	31	28 未満	28	28 未満

注 1) 調査年月日：平成 19 年 2 月 6 日(火) 6 時～7 日(水) 6 時

2) 地点番号は、図 3-1-6.1 に対応する。

出典：「君津環境整備センター増設事業に係る環境影響評価書」（平成 21 年 5 月 新井総合施設株式会社）

表 3-1-6.7 道路交通騒音測定結果

調査地点		等価騒音レベル		時間率騒音レベル					
		L_{Aeq} (dB)		L_{A5} (dB)		L_{A10} (dB)		L_{A95} (dB)	
		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
5	国道 465 号(稲ヶ崎)	65	55	70	43	42	28	30	28 未満
7	林道戸面蔵玉線	59	38	50	32	33	28 未満	28	28 未満

注 1) 調査年月日：地点 5 平成 19 年 3 月 22 日(木)22 時～23 日(金)22 時

地点 7 平成 19 年 2 月 6 日(火) 6 時～7 日(水) 6 時

2) 地点番号は、図 3-1-6.1 に対応する。

出典：「君津環境整備センター増設事業に係る環境影響評価書」（平成 21 年 5 月 新井総合施設株式会社）

表 3-1-6.8 ピーク騒音レベル (L_{Amax}) 測定結果

調査地点		項目	ピーク騒音レベル (L_{Amax}) (dB)		
			上り	下り	全体
7	林道戸面蔵玉線	最大値	91	83	91
		最小値	81	67	67
		平均値	85	77	81

注 1) 調査年月日：平成 19 年 2 月 6 日(火) 6 時～7 日(水) 6 時

2) 地点番号は、図 3-1-6.1 に対応する。

出典：「君津環境整備センター増設事業に係る環境影響評価書」

(平成 21 年 5 月 新井総合施設株式会社)

(4) 君津環境整備センターにおけるモニタリング調査結果

君津環境整備センターでは、平成16年4月の開設以来、図3-1-6.1に示す既設埋立地の敷地境界東(地点2)及び蔵玉(地点6)において騒音のモニタリングを行っており、最近5年間の結果は表3-1-6.9に示すとおりである。

既設埋立地の敷地境界東では、8時台及び17時台の埋立作業時間外の暗騒音は90%レンジの上端値(L_{AB})で42~60dB、9時台~16時台の埋立作業時間内では50~72dBとなっている。

蔵玉の8時台及び17時台の廃棄物搬入車両通行時間外の暗騒音は等価騒音レベル(L_{Aeq})で41~61dB、9時台~16時台の廃棄物搬入車両通行時間内では46~69dBとなっている。

表3-1-6.9 騒音モニタリング調査結果

単位：dB

番号	調査地点	調査日 時間帯	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
			(H23.1)	(H24.1)	(H25.2)	(H26.2)	(H27.1)
2	敷地境界東 (既設埋立地)	8時台(暗騒音)(L_{AB})	55	58	56	57	56
		9時台(L_{AB})	54	66	61	64	71
		10時台(L_{AB})	56	58	60	62	72
		11時台(L_{AB})	57	65	58	62	72
		12時台(L_{AB})	56	60	57	63	67
		13時台(L_{AB})	62	63	58	65	67
		14時台(L_{AB})	61	57	57	60	69
		15時台(L_{AB})	64	58	62	64	69
		16時台(L_{AB})	53	58	50	53	66
6	蔵玉	8時台(暗騒音)(L_{Aeq})	61	59	55	58	47
		9時台(L_{Aeq})	63	61	61	61	52
		10時台(L_{Aeq})	62	61	61	64	59
		11時台(L_{Aeq})	65	67	56	66	53
		12時台(L_{Aeq})	60	62	60	63	48
		13時台(L_{Aeq})	61	62	61	65	55
		14時台(L_{Aeq})	61	57	60	66	58
		15時台(L_{Aeq})	60	60	63	64	69
		16時台(L_{Aeq})	57	56	56	46	48
		17時台(暗騒音)(L_{Aeq})	47	50	45	41	47

注) 地点番号は、図3-1-6.1に対応する。

出典：「君津環境整備センター環境調査 平成26年度年報」(平成27年4月 日鉄住金環境株式会社)

7. 振動の状況

(1) 君津市及び市原市における振動測定結果

ア. 道路交通振動の状況

道路交通振動については、「振動規制法」に基づき指定地域を中心に市町村が実態調査を実施しており、そのうち平成 25 年度に君津市及び市原市で測定された結果は、表 3-1 7. 1 に示すとおりである。

すべての地点で道路交通振動の要請限度以下となっている。

表 3 1-7. 1 道路交通振動実態調査結果（平成 25 年度）

道路名	測定地点	区域の区分	車線数	振動レベル 80%レンジの上端値(dB)		要請限度判定
				昼間	夜間	
県道君津鴨川線	君津市内箕輪 1-1 地先	第 1 種	2	46	32	○
県道加茂木更津線	君津市末吉 437 地先	第 1 種	2	48	24	○

注 1) 区域の区分

第 1 種区域：第 1 種低層住居専用地域、第 2 種低層住居専用地域、第 1 種中高層住居専用地域

2) 平成 25 年度は市原市内の測定地点はない。

出典：「平成 26 年版「千葉県環境白書」（平成 26 年 12 月 千葉県）

イ. 道路交通振動の経年変化

君津市及び市原市の平成 21～25 年度における道路交通振動の経年変化は、表 3-1-7. 2 に示すとおりである。測定した道路では、昼間、夜間ともにほぼ横ばいであるが、年度により多少の増減がみられる。

表 3 1 7. 2 道路交通振動の経年変化

道路名	区域の区分	振動レベル：80%レンジの上端値 (dB)									
		昼間					夜間				
		H21	H22	H23	H24	H25	H21	H22	H23	H24	H25
県道君津鴨川線（内箕輪）	第 1 種	45	45	43	40	46	35	34	35	29	32
県道加茂木更津線（末吉）	第 1 種	48	45	—	48	48	25	30	—	27	24
県道荻作君津線（三直）	第 1 種	47	42	43	45	—	36	34	35	34	—
国道 16 号	第 2 種	53	53	—	—	—	49	50	—	—	—
国道 297 号（藤井）	第 1 種	45	47	45	—	—	37	41	36	—	—
国道 297 号（五所）	第 2 種	42	45	44	—	—	36	37	36	—	—
県道千葉鴨川線（迎田）	第 2 種	42	43	42	—	—	36	36	36	—	—

出典：「平成 22～26 年版 千葉県環境白書」（千葉県）

(2) 「H13 生活環境影響調査書」における調査結果

「H13 生活環境影響調査書」によると、平成10年10月に図3-1-6.1に示す既設埋立地の敷地境界北（地点1）及び蔵玉（林道戸面蔵玉線沿道：地点6）において振動調査を行っており、その結果は表3-1-7.3に示すとおりである。

両地点とも、すべての時間帯で振動レベル計の測定下限値である30dBを下回っている。

表3-1-7.3 事業実施区域付近の振動の状況

番号	調査地点	振動レベル：L ₁₀ (dB)		
		平均	最大	最小
1	敷地境界北 (既設埋立地)	30未満	30未満	30未満
6	蔵玉 (林道沿道)	30未満	30未満	30未満

注1) 調査年月日：平成10年10月20日(火)7時～19時

2) 平均は7時～19時までの12時間平均値、最大、最小は1時間値

3) 地点番号は、図3-1-6.1に対応する。

出典：「君津環境整備センター建設事業 生活環境影響調査書」

(平成13年12月 新井総合施設株式会社)

(3) 「H21 環境影響評価書」における調査結果

「H21 環境影響評価書」によると、道路交通振動として国道465号（地点5）は平成19年3月、林道戸面蔵玉線（地点7）は平成19年2月に振動調査を実施しており（図3-1-6.1参照）、その結果は表3-1-7.4に示すとおりである。

国道465号では昼間26dB、夜間25dB未満、林道戸面蔵玉線では昼間、夜間ともに25dB未満であった。

両道路沿道には道路交通振動の要請限度は設定されていないが、「第1種区域」の基準値（昼間：65dB、夜間：60dB）と比較すると、両地点とも基準値を大きく下回る値となっている。

表3-1-7.4 道路交通振動測定結果

調査地点		振動レベル：L ₁₀ (dB)	
		昼間	夜間
5	国道465号（稲ヶ崎）	26	25未満
7	林道戸面蔵玉線	25未満	25未満

注1) 調査年月日：地点5 平成19年3月22日(木)22時～23日(金)22時
地点7 平成19年2月6日(火)6時～7日(水)6時

2) 地点番号は、図3-1-6.1に対応する。

出典：「君津環境整備センター増設事業に係る環境影響評価書」

(平成21年5月 新井総合施設株式会社)

また、国道465号及び林道戸面蔵玉線における地盤卓越振動数の測定結果は、軟弱地盤とされる地盤卓越振動数（15H以下）より大きな値を示していることから、道路沿道の地盤は軟弱地盤とは考えられない。

(4) 君津環境整備センターにおけるモニタリング調査結果

君津環境整備センターでは、平成16年4月の開設以来、図3-1-6.1に示す既設埋立地の敷地境界東（地点2）及び蔵玉（地点6）において振動のモニタリングを行っており、最近5年間の結果は表3-1-7.5に示すとおりである。

既設埋立地の敷地境界東における80%レンジの上端値（ L_{10} ）は、30未満～38dBである。なお、平成24、25年度はすべての時間帯で30dB未満となっている。

蔵玉の80%レンジの上端値（ L_{10} ）は、すべての時間帯で30dB未満となっている。

表3-1-7.5 振動モニタリング調査結果

単位：dB

番号	調査地点	調査日 時間帯	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
			(H23.1)	(H24.1)	(H25.2)	(H26.2)	(H27.1)
2	敷地境界東 (既設埋立地)	8時台 (L_{10})	31	30未満	30未満	30未満	30未満
		9時台 (L_{10})	30未満	32	30未満	30未満	36
		10時台 (L_{10})	30未満	30未満	30未満	30未満	38
		11時台 (L_{10})	30未満	34	30未満	30未満	36
		12時台 (L_{10})	30未満	30未満	30未満	30未満	31
		13時台 (L_{10})	32	33	30未満	30未満	35
		14時台 (L_{10})	34	32	30未満	30未満	34
		15時台 (L_{10})	30未満	30未満	30未満	30未満	37
		16時台 (L_{10})	30未満	33	30未満	30未満	31
6	蔵玉	8時台 (L_{10})	30未満	30未満	30未満	30未満	30未満
		9時台 (L_{10})	30未満	30未満	30未満	30未満	30未満
		10時台 (L_{10})	30未満	30未満	30未満	30未満	30未満
		11時台 (L_{10})	30未満	30未満	30未満	30未満	30未満
		12時台 (L_{10})	30未満	30未満	30未満	30未満	30未満
		13時台 (L_{10})	30未満	30未満	30未満	30未満	30未満
		14時台 (L_{10})	30未満	30未満	30未満	30未満	30未満
		15時台 (L_{10})	30未満	30未満	30未満	30未満	30未満
		16時台 (L_{10})	30未満	30未満	30未満	30未満	30未満
17時台 (L_{10})	30未満	30未満	30未満	30未満	30未満		

注) 地点番号は、図3-1-6.1に対応する。

出典：「君津環境整備センター環境調査 平成26年度年報」（平成27年4月 日鉄住金環境株式会社）